

事業所名

親と子のはぐくみ広場「みのり」

支援プログラム（放課後デイサービス）

作成日

2025 年

3月 1日

法人（事業所）理念		子ども一人一人を尊重し、その特性を理解し、特性に合わせた支援をライフステージを通じて提供します。子ども一人一人が自分の思いを表現して、いきいき、のびのびと過ごせるように、コミュニケーション支援を大切にします。子どもたちの得意を生かし、苦手を補って、社会生活で生かせるスキルを身に付けられるよう、ご家族とともに連携して支援を行います。日々の支援の中で、従業員も互いに一人一人の個性を尊重し、子どもたちとともに学び、成長し、生き生きと働ける職場を実現します。															
支援方針		安心できる環境の中で一人ひとりが自分の思いを表現しながら“いきいき”“のびのび”過ごせることを心がけています。子どもさんそれぞれの特徴により添いながら、こころとからだの育ちを支援します。また、保護者の方の子育てに関する不安や家庭での対応などについて話し合いながら、一緒に子どもさんの育ちを考え、ご家族と共に歩んでいきます。															
営業時間		9 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり		なし		必要に応じて実施する場合有	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・ お子さんの生活環境や発達段階から心身の状態を把握し、来所された際のお子さんのご様子を丁寧に観察しながら、支援を行います。 ・ それぞれのお子さんの特性に応じて、時間や空間を分かりやすく構造化し、日常生活や社会生活の自立に必要な生活スキルを育みます。															
	運動・感覚	・ 感覚統合の視点を取り入れ、身体をつかった様々な活動を通して、身体をコントロールする力や使いこなす力を育みます。 ・ 活動の中で、様々な感覚や感触に触れる機会を設定し、感覚の成長を支援します。 ・ 月に一回の作業療法士とのセッションや相談を通して、身体の育ちの支援を充実させます。															
	認知・行動	・ 個々の特性に配慮しながら、生活の中で必要となる情報を取得したり、それらの情報を適切に処理する力の発達を支援します。 ・ 学校の学習におけるそれぞれのお子さんの苦手なことや得意なことを把握し、それぞれの特性に応じた教材（デジタル教材・プリント等）や学びのスタイルで学習に取り組む力を育てます。 ・ 日常生活の中で適切な行動をとることが難しい時は、その原因や予防法を考え、行動と気持ちを調整する力を育てます。															
	言語 コミュニケーション	・ 言葉だけでなく、ジェスチャーやカード等、お子さん一人ひとりに応じた表現方法を育てます。また、お子さんが表現した内容には共感的に対応し、わかった！伝わった！という経験が積み重なることを大切にします。 ・ 小集団の中での活動や友達との関わりをとおして、人と楽しいやりとりが続くようにサポートし、コミュニケーションの方法の拡がりや育ちを支援します。															
	人間関係 社会性	・ 社会的なルールやマナー等、集団生活で必要となる力を身に付けることを目指します。 ・ それぞれのお子さんにあった方法／教材でソーシャルスキルの学びを支援し、周囲の人と安定した関係を形成する力を育てます。															
家族支援		・ 希望により個別相談の時間を設定します。 ・ 療育場面への参加や見学の機会を設定し、療育場面での様子の共有をはかります。								移行支援		・ 通われている小学校／中学校／高等学校／支援学校の見学や情報共有を通して移行に向けた支援をします。					
地域支援・地域連携		・ 通われている小学校／中学校／高等学校／支援学校への見学や情報共有を行います。それぞれの先生に療育場面を見学してもらうこともできます。 ・ その他、医療機関等の関係機関とも連携をはかります。								職員の質の向上		・ 自閉症eサービスの研修受講、PECSワークショップへの参加 ・ 公認心理師、臨床心理士研修会への参加（資格取得者） ・ 日々の療育の振り返り					
主な行事等		・ 外出・料理・制作・季節の行事等のイベントを毎週土曜日に開催しています。 ・ 夏休み等の長期休みには、プールやお買い物等、外出のイベントを企画しています。															